

信州健康ゼロエネ住宅普及促進協議会 アンケート結果について

- 1 信州健康ゼロエネ住宅普及促進に関する調査の結果 1
- 2 県産木材の使用状況等に関するアンケート調査の結果 3

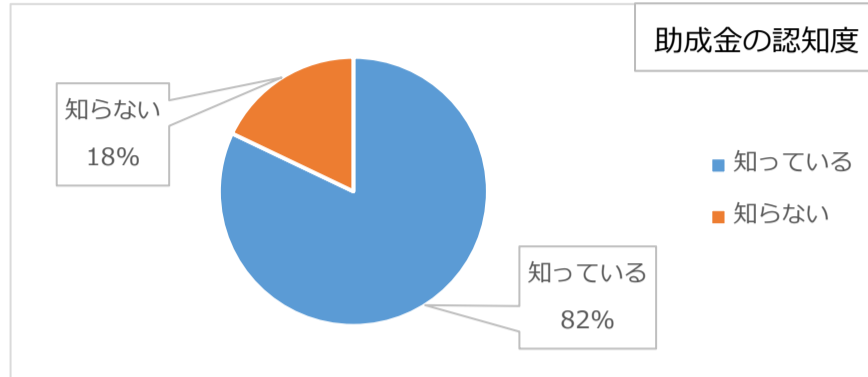
信州健康ゼロエネ住宅普及促進に関する調査の結果

長野県 建設部 建築住宅課

回答数 : 67

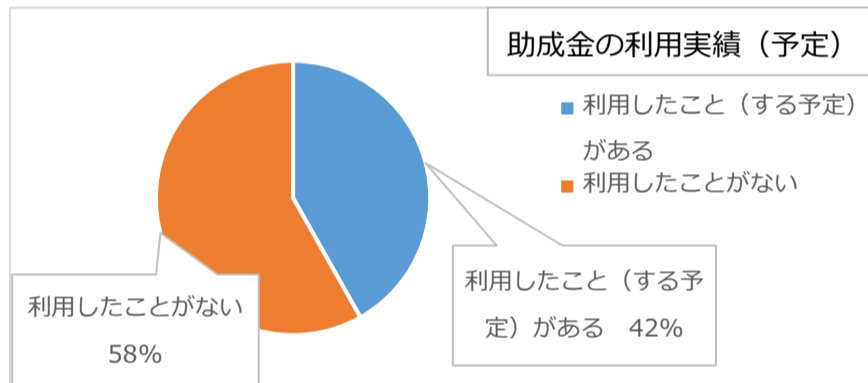
問1 信州健康ゼロエネ住宅助成金の認知について

知っている 55 ⇒問2へ進む
知らない 12



問2 信州健康ゼロエネ住宅助成金の利用について

1. 利用したこと（する予定）がある 23 ⇒問3へ進む。
2. 利用したことがない 32

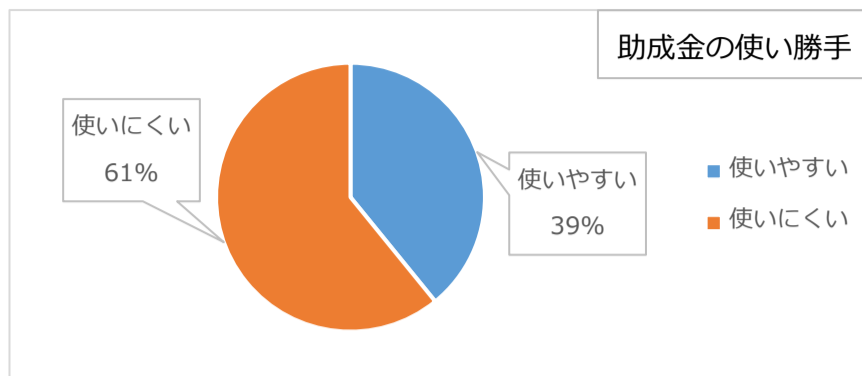


利用したことがない理由（自由記載）

- ・対象物件がない。
- ・お客様の周知が少ないため、より周知されている補助金の活用になっている。
- ・県産材の使用制限により、価格への転嫁が大きい。結果として、お客様への負担が増してしまい、市場競争力の低下を招く。
- ・手続きが煩雑。また、手数料を設計料に反映できない。
- ・建築費のUP(補助金の枠内で収まらない)
- ・当該地域でゼロエネ住宅が未だ普及しておらず、工事費の高騰も相まって、施主が予算アップは難しくゼロエネ住宅の建築希望には至らないのが現状です。
- ・建築費が高くなりすぎて使用できない。また、要件や手続きが煩雑で利用をしようとは思えない。
- ・近年、国による補助制度が充実しており(こどもみらい・こどもエコなど)、そちらの制度の方が要件のハードルが低く、申請も簡単かつ申請手続きも充実しており、わかりやすく、補助額も多い。県の補助に国の予算が充当されている以上、国の補助利用が優先される。
- ・対象となる住宅着工件数が少ない。
- ・偶々、利用できる住宅設計の機会がなかったため。
- ・最低の基準については基本額が少なく、その他の補助金を活用したほうが助成金額が多い。
- ・知ってはいるけど細かい内容まで理解していないので。
- ・条件がきびしすぎる
- ・顧客からの要望もない
- ・要件を満たしてもかなりの高額になる、補助金が少ない。
- ・補助額の割に満たすことが多いと感じる。零細企業には、ハードルが高いと思う。大手志向である。

問3 信州健康ゼロエネ住宅助成金の使い勝手について

- 1. 使いやすい 9
- 2. 使いにくい 14



使いにくい理由（自由記載）

- ・申請の際、BELS証明の添付をもって他の書類添付を省略できないか。
- ・申請（書類の記入等）をもう少し簡易にするなど改善が必要かと思えます。
- ・県産材の活用が難しい。
- ・県産材活用必須なので、弊社のほとんどのブランドが県産材(無垢材)を使用する事で価格がアップしてしまう為、県産材(無垢材)に関心が低い方にとっては、上がった費用を助成金で補填するという考えは、積極的には採用されない事が多いかと思えます。
- ・既存建物の一部を残して、台所、浴室、便所を含む70㎡の増築をする場合、新築での申込みができない。
- ・電子申請ができない。（紙ベースではなく、PDFで提出することができればよい）
- ・助成を複合的にしないで、それぞれの助成が可能な単純にして頂きたい。
- ・エネルギー消費外皮計算などが不慣れなため、書類の整理に時間がかかり設計費用の負担分を考えなければならない。
- ・数量など（断熱、窓、県産材）を申請時に○～○内の様な出し方だと、資料を出しやすい。
- ・オプションで追加できる項目にして欲しい。

問4 信州健康ゼロエネ住宅助成金に対する要望について

(1) 新築要件

- ・要件のハードルが、他の補助制度に比べると高い。物価高の今、この要件で家を建てられる人は限られる。
- ・要件を満たすため、要件を証明するために手間・時間・コストがかかる。

(2) リフォーム要件

- ・大規模リフォームの場合最大100万は心もとない。
国交省の長期優良住宅化リフォーム並みの金額がほしいところ（250万・300万）

(3) 助成額

- ・県産材利用になると助成して頂くよりもかなり金額がUPしてしまう
- ・助成金額の選択項目部分の要件を増やして欲しい。

(4) 申請手続き

- ・年度単位の補助金で建築の時期によって申し込みが難しくなったり、予算がなくなる心配があるので、そういった物件への対応を調整してほしい。
- ・契約段階で、補助金額が確定している場合はほとんどない。その為、補助金額を契約書ないし見積書に記載することが大変難しい。そこら辺を見直して欲しい。
- ・申請に手間がかかりすぎる。
- ・申請手続きの簡略化。ゼロエネ住宅普及によるコストアップに見合った助成金。
- ・助成額と、性能にもう少し幅を設けて頂きたいです。最低基準でも決して低い数値ではないと思うのですが、推奨基準までとの差が大きすぎるように思います。
- ・以前の施主様での申請のほうが申請しやすい。
- ・各要件を証明するための性能値や書類がわかりにくい。
「環境負荷の低減と快適性を高次元で達成する基準←つまり、どのような基準？性能値でいくつ？」など。具体的な数字や性能値で表せるものは、数字で表してほしい。要件の達成基準が他にある場合は、その要件をわかりやすく掲載してほしい。
書類は記入例や書類例を、全て可視化できる形で掲示してほしい。
- ・設計者欄を設けてほしい。

(5) その他

- ・移住者の加算をもどして欲しい。
- ・伝統分野の規定が疑問（茅葺き、鉄平石、ナマコ壁）などダメだと聞いた。
- ・窓リノベなどにくらべ、提出書類が多い割に助成額が少ない。
- ・写真管理多すぎ。（中間検査すれば良い）
- ・太陽光、ペレットストーブ、薪ストーブが無いと申請できないのはゼロエネと謳っているのだから他の選択肢も必要ではないのか。

県産木材の使用状況等に関するアンケート調査の結果

長野県 建設部 建築住宅課

■ アンケート期間

令和5年10月10日から令和5年11月22日まで

■ アンケート対象者

次の団体に所属する者（50音順）

信州の快適な住まいを考える会	長野県建築士会
信州木材認証製品センター	長野県建築士事務所協会
信州木造住宅協会	長野県工務店協会
新木造住宅技術研究協議会長野県支部	長野県木材協同組合連合会
長野県建設業協会	長野県優良住宅協会
長野県建設労働組合連合会	JIA長野県クラブ

■ 回答数

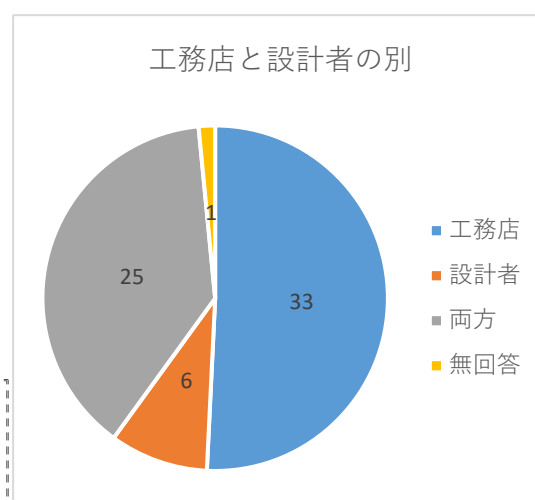
65

■ 回答者の属性

○工務店と設計者の別

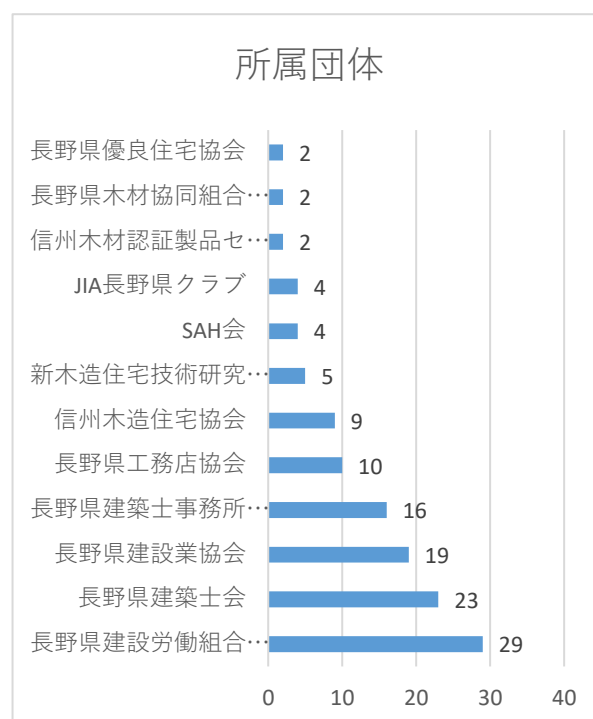
工務店 (A)	設計者 (B)	両方 (C)	無回答	計 (D)
33	6	25	1	65
(A+C) / D	(B+C) / D			
89%	48%			

回答者の約9割が工務店業を営む。
⇒工務店色の強い回答結果



○所属団体

信州の快適な住まいを考える会	4
信州木材認証製品センター	2
信州木造住宅協会	9
新木造住宅技術研究協議会長野県支部	5
長野県建設業協会	19
長野県建設労働組合連合会	29
長野県建築士会	23
長野県建築士事務所協会	16
長野県工務店協会	10
長野県木材協同組合連合会	2
長野県優良住宅協会	2
JIA長野県クラブ	4



問1 回答事業所の直近3年間（R2年度～R4年度）の住宅の施工（設計）状況

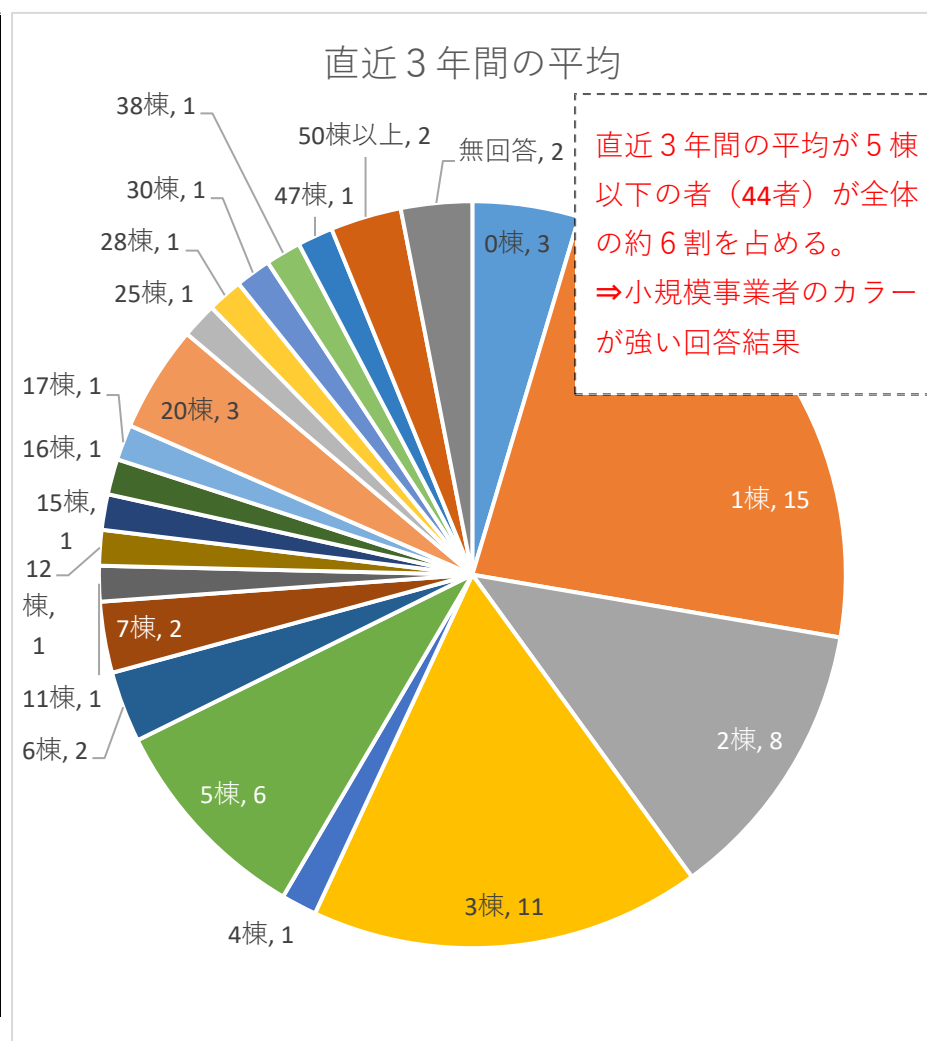
①-1 施工（設計）棟数の平均（無回答は除き、「50～」は「50」で計算）

R2年度 7.9 棟 R3年度 7.8 棟 R4年度 8.4 棟

①-2 直近3年間の平均

0棟	3
1棟	15
2棟	8
3棟	11
4棟	1
5棟	6
6棟	2
7棟	2
11棟	1
12棟	1
15棟	1
16棟	1
17棟	1
20棟	3
25棟	1
28棟	1
30棟	1
38棟	1
47棟	1
50棟以上	2
無回答	2

計 65



② 施工（設計）する住宅の主な構造

構造	回答数
W造（在来）	54
W造（枠組み）	5
S造（軽量S造含む）	1
RC造	1
その他	1
無回答	3
合計	65

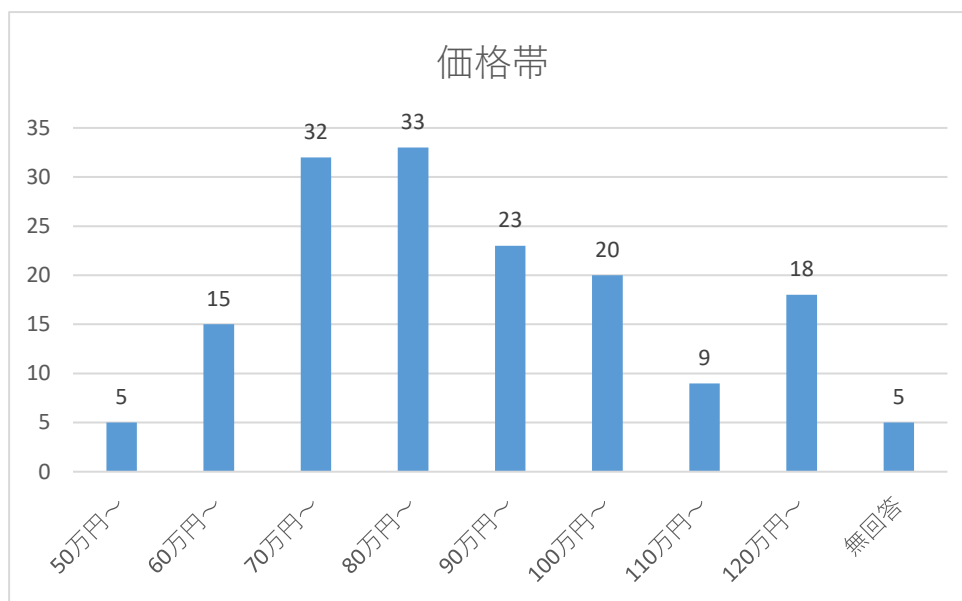
・床面積1㎡あたりの平均木材使用量（県産材不問）

平均木材使用量	0.192	（回答数9）
（最大）	0.250	
	0.230	
	0.210	
	0.210	
	0.200	
	0.194	
	0.180	
	0.150	
（最小）	0.100	

③ 直近3年間で施工（設計）したことのある住宅の価格帯（税込み坪単価）（複数回答可）

50万円～	60万円～	70万円～	80万円～	90万円～	100万円～	110万円～	120万円～
5	15	32	33	23	20	9	18

(無回答：5)

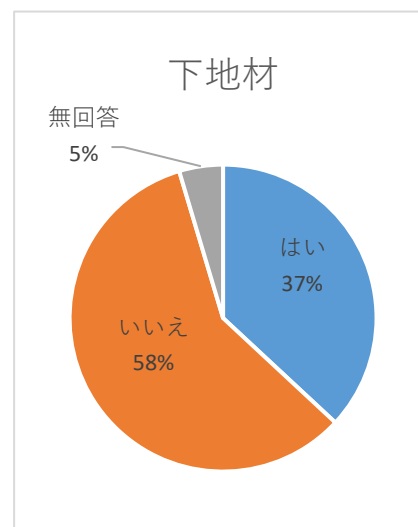
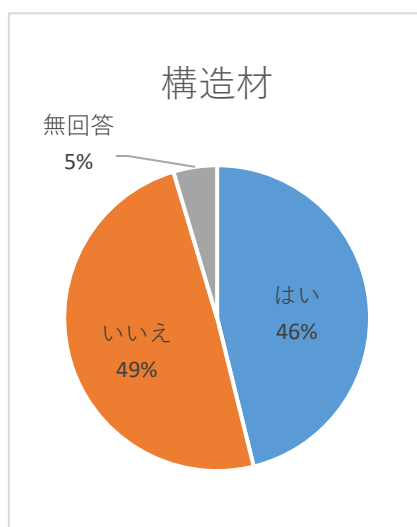
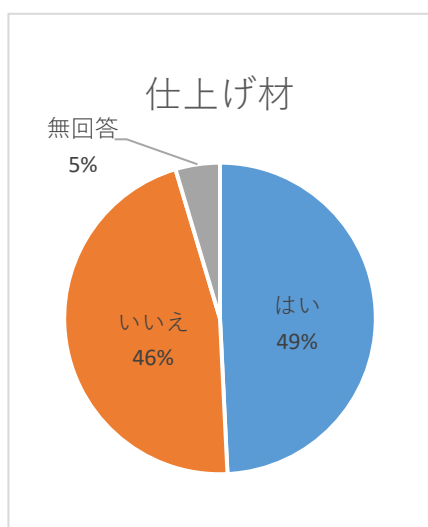


問2 県産材の使用の有無

(直近3年間の実績を目安に、少量でも使用している場合は「はい」を選択)

	仕上げ材	構造材	下地材
はい	32	30	24
いいえ	30	32	38
無回答	3	3	3
	65	65	65

県産材は仕上げ材に使われることが比較的多く、下地材ではあまり使われていない。



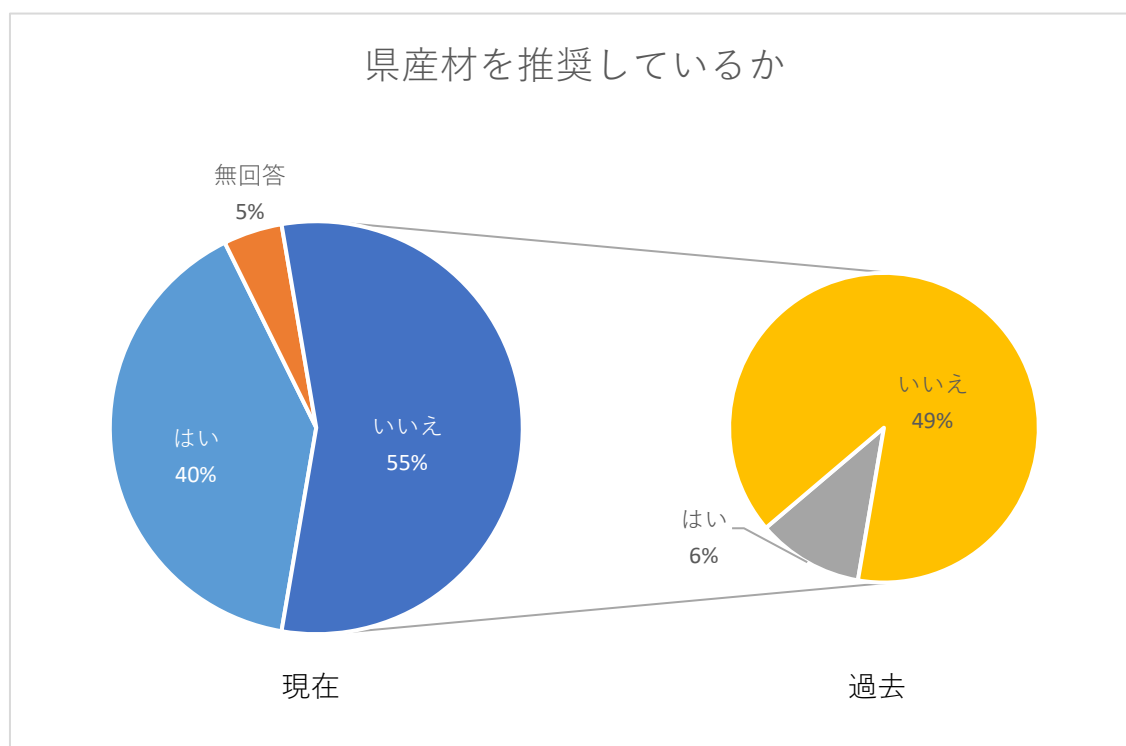
問3 施主に対する県産材使用の推奨状況について

①② 施主に対する県産材使用の推奨の有無（①現在、②過去）

【②過去は、①現在で「いいえ」（現在推奨無）と回答した場合のみ回答】

県産材を推奨しているか

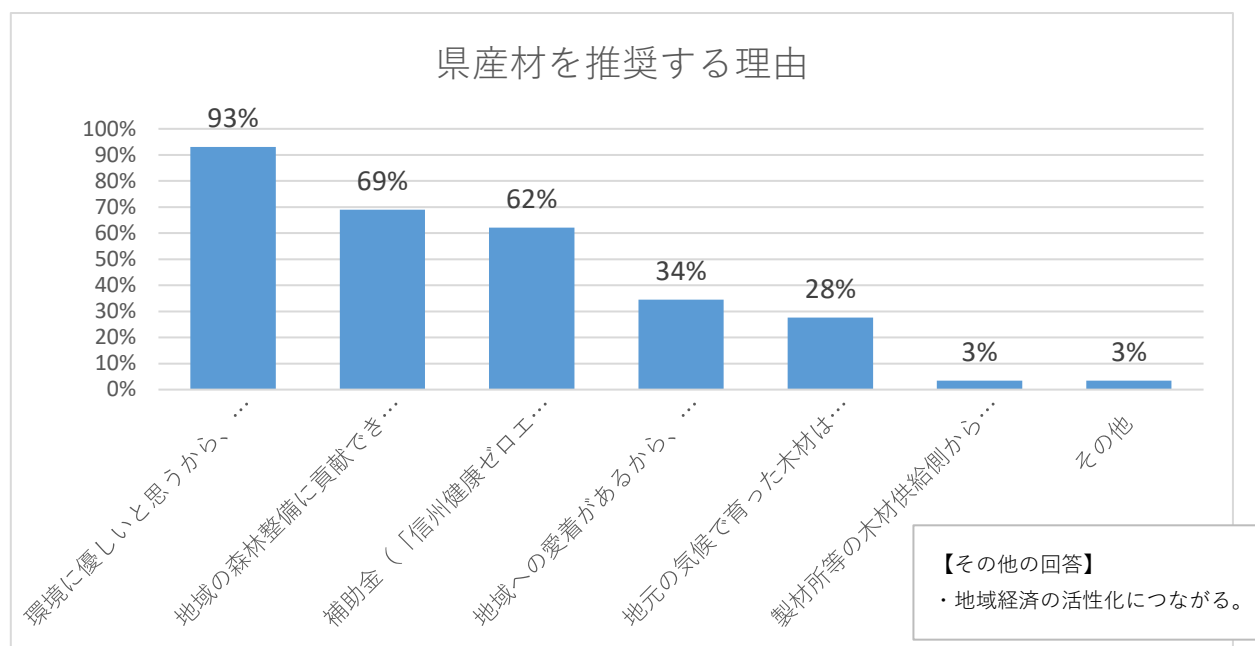
	①現在	②過去
はい	26	4
いいえ	36	32
無回答	3	0
	65	36



③ 【問3①または②で「はい」（推奨有）と回答した場合のみ回答】

県産材を推奨する理由（n=①26+②4-無回答1=29）

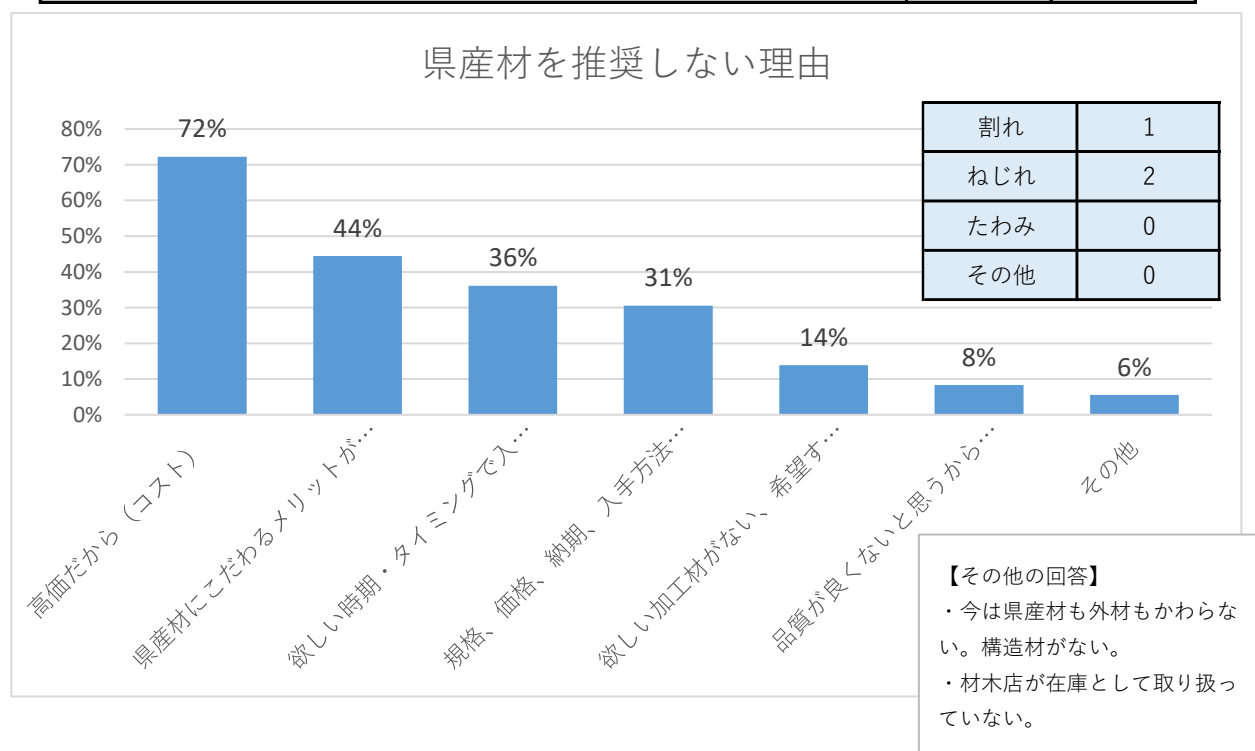
県産材を推奨する理由（複数回答可）	選択率	回答数
環境に優しいと思うから、地産地消に貢献できると思うから	93%	27
地域の森林整備に貢献できると思うから	69%	20
補助金（「信州健康ゼロエネ住宅助成金」に限らない）が活用できるから	62%	18
地域への愛着があるから、ブランド力があると思うから	34%	10
地元の気候で育った木材は長持ちすると思うから	28%	8
製材所等の木材供給側から勧められるから	3%	1
その他	3%	1



④ 【問3①または②で「いいえ」（推奨無）と回答した場合のみ回答】

県産材を推奨しない理由（n=36）

県産材を推奨しない理由（複数回答可）	選択率	回答数
高価だから（コスト）	72%	26
県産材にこだわるメリットがわからないから	44%	16
欲しい時期・タイミングで入手することができないから（時間）	36%	13
規格、価格、納期、入手方法等の情報わからないから（情報不足）	31%	11
欲しい加工材がない、希望する施工ができないから（汎用性）	14%	5
品質が良くないと思うから（品質）	8%	3
その他	6%	2



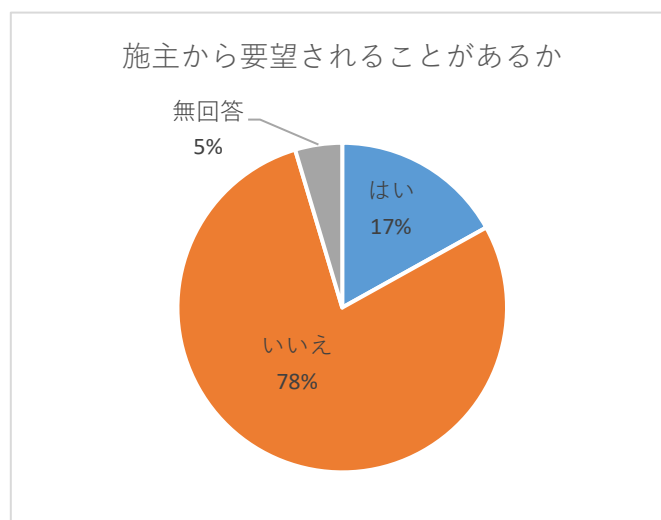
問4 施主からの県産材使用の要望状況について

① 施主からの率直的な県産材使用要望の有無

施主から要望されることがあるか

	回答数
はい	11
いいえ	51
無回答	3

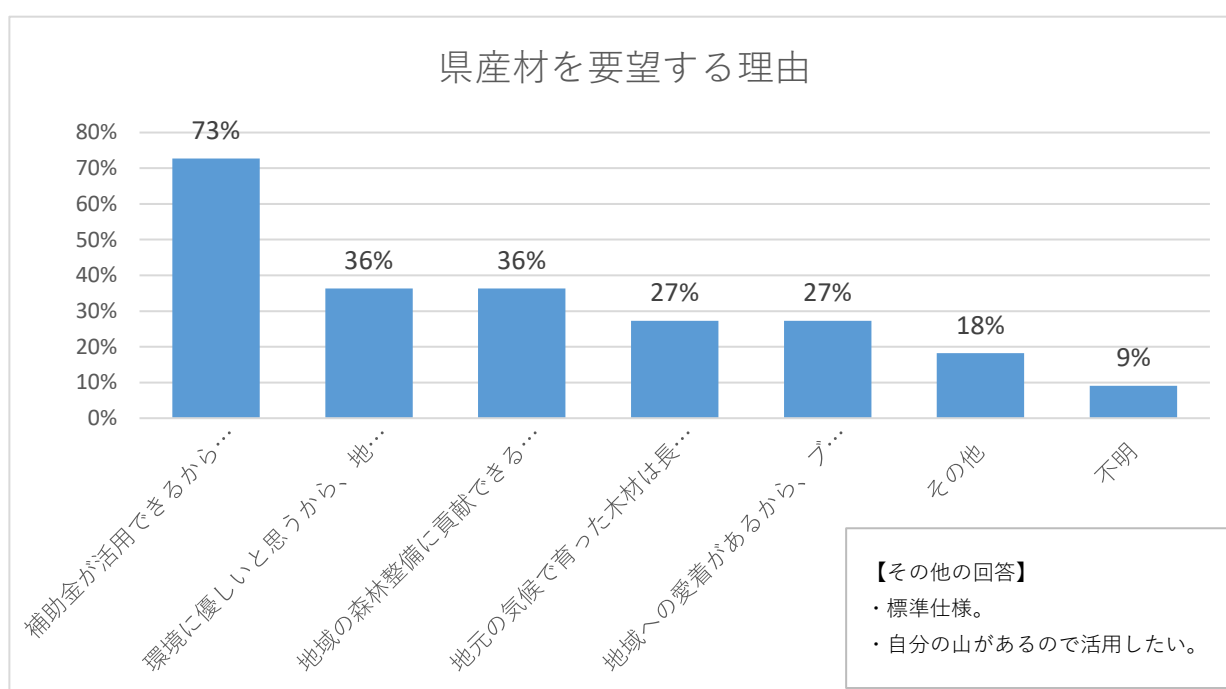
65



② 【問4①で「はい」（要望有）と回答した場合のみ回答】

施主が率直的に県産材の使用を要望する理由（n=11）

県産材を要望する理由（複数回答可）	選択率	回答数
補助金が活用できるから（「信州健康ゼロエネ住宅助成金」に限らない）	73%	8
環境に優しいと思うから、地産地消に貢献できると思うから	36%	4
地域の森林整備に貢献できると思うから	36%	4
地元の気候で育った木材は長持ちすると思うから	27%	3
地域への愛着があるから、ブランド力があると思うから	27%	3
その他	18%	2
不明	9%	1



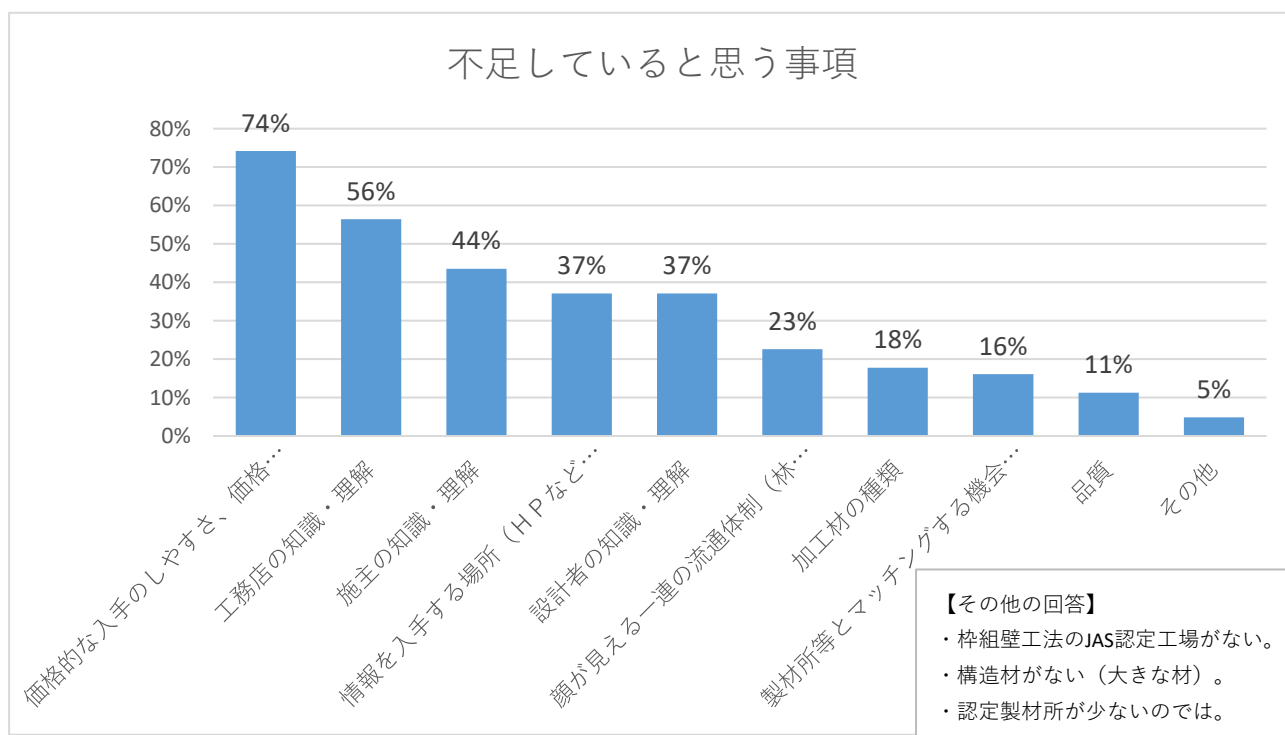
- ③ 【問3①または②で「はい」（推奨有）と回答し、かつ、施主から断られたことがある場合のみ回答】
 施主が県産材の使用を断る理由

県産材の使用を断る理由（複数回答可）	回答数 (n=11)	右のうち、 推奨をやめ た者の選択 (n=3)
高価だから、県産材よりも他の設備・性能にお金をかけたいから（コスト）	9	2
県産材を使うことにこだわりがないから	7	3
引き渡し時期に影響が及ぶから（時間）	2	1
その他	0	0
不明	0	0

問5 事業所の意向等について

- ① 県産材利用促進に不足していると思う事項（n=62）

不足していると思う事項	選択率	回答数
価格的な入手のしやすさ、価格に対する補助	74%	46
県産材を使うメリット・必要性に関する工務店の知識・理解	56%	35
県産材を使うメリット・必要性に関する施主の知識・理解	44%	27
規格、価格、納期等の情報を入手する場所（HPなども含む）	37%	23
県産材を使うメリット・必要性に関する設計者の知識・理解	37%	23
顔が見える一連の流通体制（林業者－製材所－工務店・設計者）	23%	14
加工材の種類	18%	11
製材所等とマッチングする機会（商談会等）	16%	10
品質	11%	7
その他	5%	3



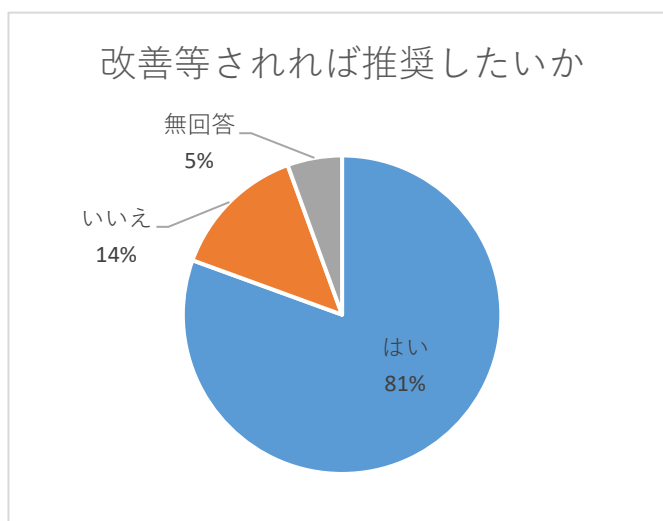
② 【問3①で「いいえ」（推奨無）と回答した場合のみ回答】

問5①で選択した事項が改善等された場合の施主への県産材推奨意欲

改善等されれば推奨したいか

	回答数
はい	29
いいえ	5
無回答	2

36



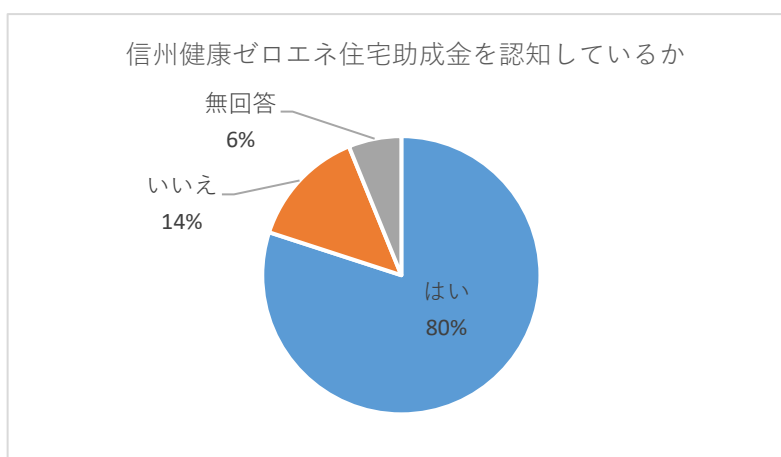
問6 事業所の県補助金制度（「信州健康ゼロエネ住宅助成金」に限る）の認知等について

① 県補助金制度（金額、要件）の認知

信州健康ゼロエネ住宅助成金を認知しているか

	回答数
はい	52
いいえ	9
無回答	4

65

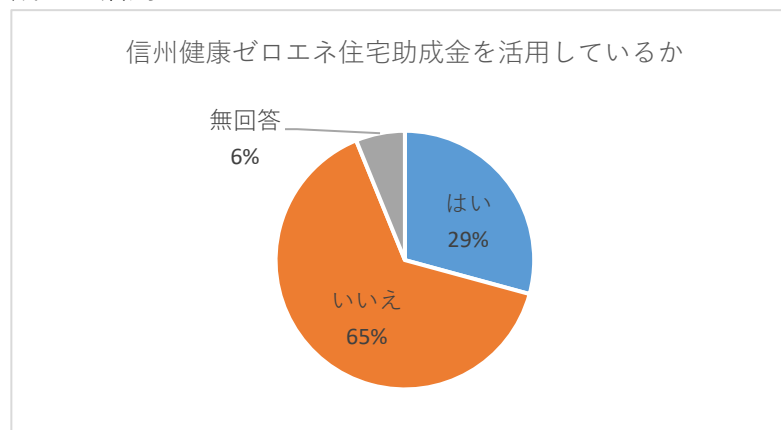


② 県補助金制度の活用歴の有無（直近3年間）

信州健康ゼロエネ住宅助成金を活用しているか

	回答数
はい	19
いいえ	42
無回答	4

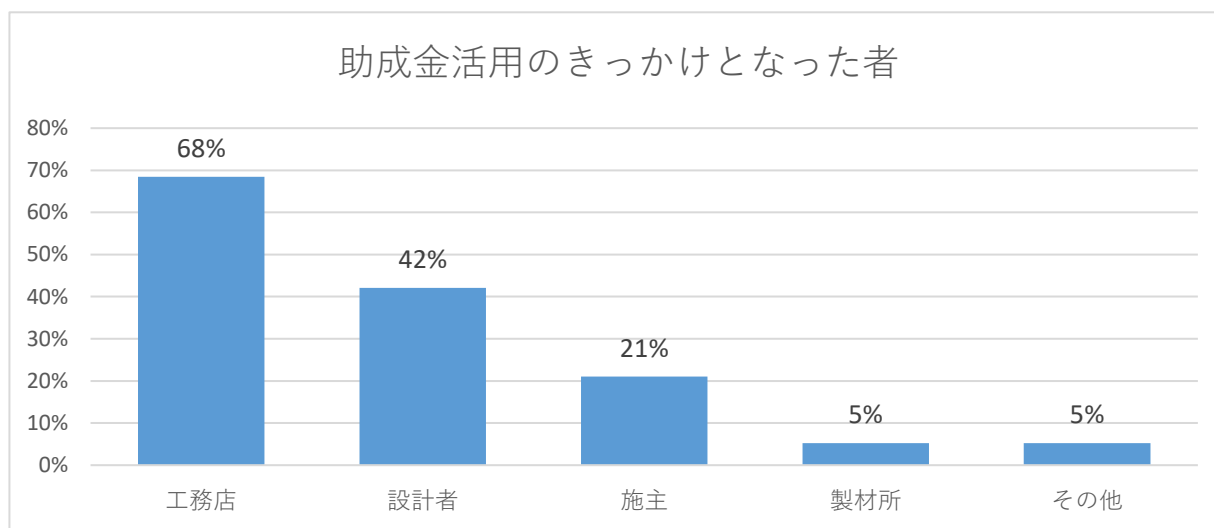
65



③ 【問6②で「はい」（活用歴有）と回答した場合のみ回答】

活用のきっかけとなった者（誰が補助金活用を言い出したか）（n=19）

助成金活用のきっかけとなった者（複数回答可）	選択率	回答数
工務店	68%	13
設計者	42%	8
施主	21%	4
製材所	5%	1
その他	5%	1



問7 県産材活用への想いや、意見・要望等（自由記載）

ただでさえ価格が高いのに物価高でとても使えません。
やはりコストではないかと思う。
どんどん使いたいが、値段が高いため躊躇してしまいます。
県産材の利用は進めていきたいですが、納入ルートが限られており入手自体が難しい為、納入ルートが確保され安定した供給が一定の金額でされる状態にならないと、積極的利用は難しいと思われます。
県産材認定工場が少なく、グリーン材の製材のみ、工場敷地を広げたにもかかわらず、チッチ加工等製材所があるのに近くに認定工場がなく不便、認定工場を増やす補助があれば。
材木店が在庫してくれるようになってほしい。
県産材の使用は川上の人達のごほうが多い
構造材等の内部割れを減らす乾燥技術の向上が望ましい。
構造材には使っていますが、割れが気になるので仕上げ材にはあまり使いたくないです。
地産地消 SDGs
建築コスト全体が上がっている中で、県産材活用の補助金の枠の拡充及び活用し易い仕組みになれば地産地消の県産材を利用できると思います。

KD材と指定されることが多いので価格面において使用しづらい。ADも認めてほしい。

信州木材認定を外したらどうか？ 認定品外でも県産材はありコストも安い

県産材利用のみの助成があれば使いやすいので、普及促進と認知度UPに繋がると思います。

徐々に多くの要件を盛り込み過ぎで、現在のゼロエネ助成は使いづらい。

申請手続きに時間がかかる。手続き手間を設計費に反映できない。